

日本臨床内分泌病理学会 理事会 議事録

日 時：2021 年 10 月 7 日（木）17：00 ～ 18：00

会 場：Zoom による Web 会議

出席者：笹野公伸・方波見卓行・西岡 宏・井下尚子・田辺晶代・中村保宏・松野 彰・
岡本高宏・柴田洋孝・菅間 博・近藤哲夫・佐藤文俊・田中知明・大月道夫・
大山健一・鈴木 貴・中島正洋・和田典男・長村義之・山田正三

欠席者：高野幸路・矢澤卓也

同席者：事務局

議題：

I 評議員会・総会と共通の議題

<評議員会・総会の審議事項>

1. 2020 年度決算及び監査報告の件
2. 2021 年度決算見込及び 2022 年度予算の件
3. 次々々期（第 28 回、2024 年度）学術総会会長候補者の件
4. 名誉会員、功労評議員、新評議員推薦の件

<評議員会・総会の報告事項>

5. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の件（6 月理事会承認済）
6. 第 25 回（2021 年度）学術総会研究賞の件
 - 1) 研究賞選考委員（6 月理事会承認済）
 - 2) 研究賞受賞者
7. 第 26 回（2022 年度）学術総会の予告

II 理事会のみの議題

<報告事項>

8. 学会 HP へのバナー広告掲載状況
9. 第 96 回（2023 年度）JES 学術総会プログラム委員会へ提案する特別演題の募集について
10. 会費長期未納者の取り扱いについて
11. コンサルテーションの現状について
12. 寄付金および賛助会員について

冒頭、笹野理事長より、会則の定足数を満たす理事が出席しているので、本理事会は成立する旨報告があり、引き続き同理事長により議事進行が行われた。

1. 2020 年度決算及び監査報告の件

- ・西岡財務担当理事より、会費収入、バナー広告収入で当期は 1,877,625 円の収入があり、1,027,799 円の支出があった。当期収支差額は、849,826 円の黒字決算であったことが報告された。
- ・次に、第 24 回岡本会長（渉外担当理事）より、学術総会の決算の内容が説明された。
- ・引き続き、佐藤監事から、上記 2 件について田中監事と監査を行った結果、2020 年度決算は適正に執行されているとの監査報告があった。
- ・以上の審議の結果、2020 年度決算は全会一致で承認された。後日評議員会、総会で承認を得る。

2. 2021 年度決算見込及び 2022 年度予算の件

- ・西岡財務担当理事より、2021 年度見込みに関し、収入の部においては、ほぼ予算通りであり、支出の部においては、会議費・旅費交通費ともに費用は発生せず、当期支出合計は予算を下回ること、その結果、当期収支差額は約 64 万円の黒字決算なるとの見込みが報告された。
- ・引き続き、同理事から、2022 年度予算案に関し、収入・支出とも基本的に 2021 年度予算及び見込を踏襲して予算を計上したことが報告された。当期収支差額は約 25 万円の黒字になる予想である。

以上、2021 年度決算見込及び 2022 年度予算について審議の結果、これらは全会一致で承認された。後日評議員会、総会で承認を得る。

3. 次々々期（第 28 回、2024 年度）学術総会会長候補者の件

- ・各理事より候補者の推薦がなかったため、笹野理事長より、今までの活動歴および年齢を考慮して中島正洋 幹事（長崎大学原爆後障害医療研究所）を次々々期会長に推挙したいとの提案があり、中島正洋候補を次々々期会長として承認、評議員会・総会に推薦することが全会一致で承認された。後日評議員会、総会で承認を得る。

4. 名誉会員、功労評議員、新評議員推薦の件

- ・笹野理事長より、名誉会員および功労評議員に関しては、候補者なしと報告があった。
 - ・同理事長より、石井 順（獨協医科大学医学部 病理学講座）、伊藤公一（伊藤病院）、
 - ・井野元智恵（東海大学医学部附属大磯病院 病理診断科）、菅原 明（東北大学大学院医学系研究科 分子内分泌学分野）の各会員は評議員の資格要件を満たしており、学会の次代を担っていただける先生方として、全員の評議員推薦が承認された。
- 以上、後日の評議員会の議を経て総会の承認を得る。

5. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の件

- ・笹野理事長より、下記の各受賞者が報告された。
後日評議員会・総会に報告される。

1) 特別功労賞：小澤安則（虎の門小澤クリニック）

2) 佐野賞：山崎有人（東北大学医学部医学系研究科 病理診断学分野）

テーマ：副腎疾患における genotype と histopathology との関連性

3) 亀谷賞：福岡秀規（神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科）

テーマ：下垂体副腎系腫瘍の病態解明と分子標的薬の開発

6. 第 25 回（2021 年度）学術総会研究賞の件

- ・ 第 25 回佐藤会長（監事）より、学術総会の概要説明があった。ハイブリッド開催を予定していたが、完全 Web 開催となった。CPC を中心に共済セミナー3 題、CPC4 題、合計 7 つの CPC があり、臨床と病理学の症例を中心に勉強ができるので是非若い人にも参加していただきたい。また外国人 5 名によるレクチャーも予定しており、各分野に渡っているので楽しみにしていただきたいと述べられた。

研究賞については、前回 6 月理事会で承認された選考委員 3 名ならびにその下で選ばれた受賞者について報告があった。後日評議員会・総会に報告される。

1) 研究賞選考委員：選考委員長 佐藤文俊会長、選考委員 菅間 博理事、西岡 宏理事、矢澤卓也理事の 3 名

2) 研究賞受賞者

① 最優秀賞

氏名：手塚雄太（東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科）

タイトル：副腎皮質は、層毎に特徴的な加齢性変化をきたす

② 奨励賞

氏名：原嶋祥吾（国立病院機構仙台医療センター 病理診断科）

タイトル：アルドステロン産生腺腫におけるコレステロール受容体・

代謝因子の発現と形態学的特徴・genotype との相関

氏名：石渡一樹（千葉大学 医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科）

タイトル：臨床病理学的・遺伝的解析からわかる 18F-FDG-PET 集積陽性副腎皮質腺腫の特徴

7. 第 26 回（2022 年度）学術総会の予告

- ・ 西岡 宏会長（理事、虎の門病院 間脳下垂体外科）より、副会長として井下尚子先生（東京都健康長寿医療センター 病理診断科）に務めていただくことを述べられ、下記の概要が報告された。

テーマ：来し方行く末

日 時：2022 年 10 月 28 日（金）・29 日（土）

会 場：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター（東京都千代田区）

プログラム：未定

8. 学会ホームページへの企業バナー掲載状況

- ・ 松野理事より、全 12 社のバナー広告が掲載済みで広告料についても入金済みであることが報告された。引き続き、各企業の担当理事には次年度継続の声掛けをお願いしたい旨要請された。

9. 第 96 回 JES 学術総会プログラム委員会へ提案する特別演題の募集について

- ・ 第 96 回日本内分泌学会学術総会（2023 年 6 月 2～4 日、有馬 寛会長）の本学会代表プログラム委員の近藤渉外担当理事より、プログラム委員会へ提案する特別演題について説明があった。昨年までの採用されなかったプログラムについても提案予定であり、新たに特別講演 1 題、シンポジウム 5 題、教育講演は 1 題、クリニカル 2 題提案予定であると報告があった。笹野理事長より CPC については提案がなかったが、第 94 回日本内分泌学会学術総会においてかなりのヒット数があったので、締切まで追加の提案があればお願いしたい旨、要望があった。

10. 会費長期未納者の取り扱いについて

- ・ 笹野理事長より、本年度末で 3 年間及び 2 年間の会費未納者（14 名）について、本人へあるいは指導教官を通じて会費納入の働きかけをお願いしたいこと、来年 2 月に会費再々請求を行った後、3 年間未納者は学会会則第 6 条に則り退会扱いとなることが報告された。

11. コンサルテーションの現状について

- ・ 近藤渉外担当理事（コンサルテーション委員長）より、本年度上半期のコンサルテーション依頼件数は 2 件であったことが報告された。

12. 寄付金および賛助会員について

- ・ 笹野理事長より、賛助会員のファイザー（株）より今年度も賛助会費の納入がある旨報告された。

以上

（記録：事務局、理事長/副理事長/筆頭理事/会長：校閲済）